

平成30年7月25日

学校関係者評価報告書

学校法人 葛谷学園
中和医療専門学校

自己点検・自己評価実施委員が作成した「平成29年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告します。

1. 学校関係者評価委員会

学外委員（五十音順）

- 佐藤 由美子 氏（保護者）
- 伊藤 秀雄 氏（クローバー治療院グループ代表 本校卒業生）
- 小川 稔 氏（小川鍼灸院院長 本校卒業生）
- 酒井 定子 氏（保護者）
- 藤川 和秀 氏（愛知県柔道整復師会副会長）
- 村田 守宏 氏（むらた鍼灸院院長 本校卒業生）

学内委員

- 右田 一弘（中和医療専門学校校長）
- 楠本 高紀（中和医療専門学校副校長）
- 古橋 一人（あはき関係科学科長）
- 葛谷 壽彦（柔道整復科学科長）
- 清川 朝栄（あはき関係科臨床実習施設長）
- 戸崎 素成（柔道整復科臨床実習施設長）
- 吉田 和生（あはき関係科校務主任）
- 森 輝久（中和医療専門学校事務局長）
- 吉野 真二（中和医療専門学校事務局職員）
- 鈴木 映憲（中和医療専門学校事務局職員）
- 平野 良彦（中和医療専門学校事務局職員）

2. 学校関係者評価委員会会議

第1回 平成30年6月24日 14：00から16：00

第2回 平成30年7月16日 14：00から16：00

場所：各回とも3号館会議室

3. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見等

分類	コメント（意見・評価等）
基準 1	<p>(1) 1-1 教育の充実をより良く実現するためにも、専任教員と講師が理念理想を共有し、協力しやすい環境をさらに整えていただきたい。</p> <p>【回答】先日、教員に「中和の魅力、理想」について各自が考える要素を聞き取りした。それぞれの教員がいろいろな考えを掲げたが、様々な意見があった。そこでまずはベクトルを一つの方向にし、学校として統一した形にしていきたい。</p> <p>(2) 1-1-4 競合する専門大学との相違を明確にし、中和の魅力を確立して欲しい。充実した臨床実習の維持継続に今後も努めていただきたい。</p> <p>【回答】専門職大学については一部説明が重複する部分があるので、基準7のところに合わせて説明を行う。</p> <p>臨床実習に関しては今後も引き続き力を入れていきたい。</p> <p>(3) 教育理念に沿った育成の重要性</p> <p>1-1 理念に沿った人材育成の具体的方法は？（昨年、あいさつ運動推進について検討されていた。それはどうなったか？）</p> <p>【回答】あいさつについては昨年もご意見をいただいたが、基本的なことではあるが重要なことだと考えている。昨年度に引き続き今年度も始業式において校長訓話であいさつについて触れ、実践中である。しかしながらまだ浸透しているとは言えず、人材育成目標にも関わってくるので繰り返し今後も続けていく。</p> <p>(4) 中項目総括：「臨床実習について」→鍼灸の治療法は種々である。臨床実習を本校の大きな特徴とするなら、具体的な治療法、指導者について列記して頂きたい。</p> <p>【回答】本校が独自に製作したテキスト「臨床入門」に沿って治療法を展開している。</p> <p>鍼灸の治療法は沢山あるが、学校なので特定の方法を推奨するよりは、まんべんなく基本を提示している。</p> <p>その方針でテキストを作成している。</p> <p>(5) 業界等の人材ニーズや社会のニーズの具体的な表現がわかりません。</p> <p>【回答】過去にご要望いただいた、即戦力として「あん摩の技術向上」や業界の意見として「感性を磨いた学生」というようなものがある。また、4月に導入された新カリキュラムの背景として、「倫理観」「臨床実習の見直し」という社会ニーズが反映されたということがある。これらが業界等の人材ニーズ、社会ニーズだと捉えている。</p>
基準	<p>(1) 2-2 学校運営懇談会では、一般教職員の意見はどのように吸い上げているのか？</p>

<p>準 2</p>	<p>【回答】学校運営懇談会は理事会の考えを一般教職員に伝えたいという趣旨で行われている。全職員が一堂に会するのは困難なので、代表として主任級以上の教職員を対象としている。</p> <p>(2) 2-4 各種委員会において兼務・兼任などで教員の過負担になりうることはあるか？</p> <p>【回答】財政上人員を増やすことができないので現在いる人員で業務をこなさざるを得ない。負担軽減のため各業務がスムーズにこなせるようマニュアルなどの整備を進めていきたい。</p> <p>(3) 2-5 教職員の採用計画に男女比は考慮されませんか？</p> <p>【回答】組織規模から、新規採用は欠員補充の場合が多い。欠員の出るタイミングで採用を希望する者の中から採用せざるを得ないので、性別を考慮できない場合がある。</p> <p>(4) 2-6 案件の重要度の判定は誰がどのようにされるのでしょうか？</p> <p>【回答】例えば予算の場合などは、取り扱う担当者が予算をたてるが、判断のつかないものは教員会議にかける。そこでも判断がつかないものは常任理事会に判断をゆだねる等、各担当が上位の過程や役職とコミュニケーションをとりながら行っている。</p> <p>(5) 2-4-2 課題についての具体的な取り組みは？</p> <p>【回答】各役割のマニュアル的なものが必要。一部については既にあるが、作成してから時間が経過しているものもあり時代に合わせたブラッシュアップもしていきたい。</p> <p>(6) 2-5-1 教職員の採用基準があいまい。何か柱となるものがあるのか？（人数、年齢、専門性 e t c）</p> <p>【回答】2-5 の部分と重なるが、状況で制限されることがあるが、できるだけ考慮していきたい。</p> <p>(7) 学校運営懇談会にて概ね一致するよう話し合ってください。</p> <p>【回答】意見を共有できるよう、意見交換が活発に行えるようにしていきたい</p>
<p>基 準 3 本</p>	<p>(1) 基本と現代性のバランスをとって学生に地力をつけてほしい。</p> <p>【回答】学生の地力を伸ばせるような方向性を目標としている。今後も状況をみていろいろと考えながらやっていきたい。</p> <p>(2) 3-8 教育到達レベルの達成度や到達段階はどのように判定し是正するのか？</p> <p>【回答】達成度は各科目試験、到達段階は授業シラバスに規定されている。実技につ</p>

科 ・ 専 科	<p>いてはしっかりと規定があるが、学科については到達度の段階の整備など向上の余地があると考えている。それらを含め、年に 1~3 回行う学科・実技打ち合わせ会議で到達度の見直しなどを行っている。</p> <p>(3) 3-11 国家試験対策には、より一層の尽力と成果を期待しています。 【回答】教職員、生徒一丸となって取り組んでいきたい。</p> <p>(4) 学術研鑽の重要性 3-10-2 指導教員等の学会での具体的な研鑽法はあるか？ 【回答】常勤職員は全日本鍼灸学会に参加している。</p> <p>(5) 中項目総括 (3-10) 東洋療法学校協会主催の実技審査結果をどう生かしているか？ 【回答】全員が合格できるよう学内で 8 項目の基準を作り指導しているが、緊張の為消毒の手順を間違える等、軽度な不備をしてしまう学生が数名出る。その場合も教員で不備について等検証し、指導をして追試で全員合格し卒業している。</p> <p>(6) 中項目総括 (3-11) 学内での実技試験とは？ ①具体的に、②学校協会審査との関係？ 生かし方？ 【回答】実技科目の試験のことで、学校協会とは無関係のものである。実技試験で学生の状況を見ながら実技打ち合わせ会議で指導内容を検討している。</p> <p>(7) 学力の及ばない学生に対して、特別講座を行っていたり、学力別の少人数グループ学習を検討しているとのこと、「学生自身のやる気はどうなのでしょう？」。 【回答】資格を取った後の目標がない学生がモチベーションが低い場合がある。内面の事で対応に限界はあるが、担任など教員が相談する等で対応をしている。</p>
基 準 3 柔 整 科	<p>(1) 3-9-4 授業評価の第三者評価はどのように取り入れるのか？ 【回答】今後、5 年程度後に授業に関する第三者評価は義務化の方向になっている。それを踏まえて導入準備中である。それとは別に、学生に授業のアンケートを行っている。(葛谷)</p> <p>(2) 3-10 公正で判りやすい成績評価が学生の向上心によい影響を及ぼしているのは喜ばしいことと思います。 【回答】今後も学生の向上心につながるよう進めてまいります。</p> <p>(3) 特色ある教育、学校向上について 3-9 中項目総括：本校の特色を生かした具体的な教育法とは？柔道整復術研鑽について取り組んでみえることは？ 【回答】国家試験、認定実技審査合格を目標にしている。国試前にある認定実技試験</p>

の為、実技実習に力を入れ、全員合格まで指導している。

(4) 業界をリードする人材教育を実践するには、教職員の方々の自己管理と人格を磨き、希望を持って教育に取り組んでください。

※学力不足には、本人の将来の目標や夢の実現への思いがたりないのでは？

【回答】 ご期待に沿えるように指導してまいります。学力不測の学生の中には目標がなくモチベーションが不足している者も見受けられる。モチベーションのある学生は、国試に向けて成績も上がりやすい場合が多い。多くの学生が資格を取得後その資格を生かすうえでの目標や夢をもてるようモチベーションのケアを考えていきたい。

基準
4

(1) 4-13 就職活動が遅いことの問題点は？ その対策は？

【回答】 国家試験の結果の事もあるので、実際に動けるのが遅くなってしまう場合があるが、なるべく早く情報収集や準備をし、慌てることのないように早い時期に企業説明会を行い、きっかけづくりに努めている。

(2) 4-13 学生一人一人について、どこまで具体的に就職希望を聞いているのか？

【回答】 個別に相談に来た学生については職種、待遇など細かな希望を聞きつつ対応している。人によって面接の仕方など様々な相談内容があるが、内定獲得までフォローしている。

(3) 4-13 鍼灸院（鍼灸専門）からの求人はどのくらい？

【回答】 鍼灸専門だとかなり少ない。例年 10 件ないくらいである。鍼灸マッサージ治療院あるいは鍼灸接骨院ということになると数が多い。

(4) 4-14-1 第 26 回はり師国試、本校合格率 51.7 %。平均以下。その対策は？

【回答】 国試に出題される科目ごとに重要部分をピックアップし、習熟度や弱点の把握に活用する試みをしている。

学力確認試験の結果から課題を出し、その課題に関する確認試験を行うというサイクルを今後増やす計画を協議しているところである。模試の問題に自信度をつけさせ、本当に自信と実力が一致している確認するという事を今年実施する。また、今までは最終の模擬試験を行う 2 月にピークが来ていたが、国試までの時間が残り少ないタイミングであることから指導が間に合わない部分もある為、12 月に一度ピークを持ってくるよう模試や指導等のタイミングを早める事とした。

【回答】 柔整科としては、1 年時より学生個人ごとの学力や人となりを常勤教員間で共有し、また各クラスの担任が面談などを通し学生の状態を確認することで個別に対応しやすい環境を作っている。対応のプロセスとしては、1. 共有している学生の情報から指導の必要性の有無を検討する。2. 指導が必要な場合、具体的にその学生が苦手な部分などを検討する。3. 検討を踏まえ、学生に指導する。

という段階を基本としている。学力の向上に関しては自己学習の部分で差が出やすいので、課題を出して試験を行うなどして理解度の確認も行っている。

(5) 就職率は良いですね。就活を始めるのが遅いのは個人差があると思いますが、1年の時から企業説明会への参加呼びかけをさらに進めてください。

【回答】今年度も企業説明会を行い、過去最多の企業様に参加していただいた。学生もこの行事に慣れてきて複数の企業様に話を聞く生徒もみられた。3年生がメインという事もあるが、学年ごとに注意事項を設け、将来に向け1、2年生も参加するよう促している。

(6) Bクラスの方が合格率が良いとのことなのでⅡ部を選びました。

【回答】Bクラス（柔道整復科Ⅱ部）の方が学生の平均年齢が高く、社会人経験のある学生も多いため、目的意識がはっきりしている学生が多いという事はあるかもしれない。

(7) 成績の悪い学生のモチベーションはどのような感じなのか。

【回答】学力が低い学生で、全てではないがモチベーションが低い学生もいる。本科に入学できなかった学生や若い学生は目標が無いように感じる。

【回答】モチベーションがないと学力がついてこないなので、退学してしまう学生がいる。3年生になるとモチベーションが高い学生が多い。成績が下位だった学生は頑張っただけ挽回する機会が多いのだが、中位の学生は油断したまま国試を受験してしまい失敗するケースが見受けられる。

(8) 中高生は予備校の映像教材を利用しているようだが、映像教材を取り入れてはどうか。

【回答】導入を検討したことがあるが、コストが莫大にかかり本校では導入を見送った。ただ、「楽しい」という感覚は学習に非常に効果的であると思うので、そういった仕掛けは考えていきたい。

基準
5

(1) 志ある学生が、経済的事情で継続困難になるのは残念です。よりよい支援を。

【回答】日本学生支援機構の奨学金などは対応しているが本校独自の奨学金制度はない。学費については延納制度で対応している。

**(2) キャリアセンターの就職係はどれくらいの人数で担当されているのでしょうか？
(学生と就職先企業の両方に対応することが必要と考えられますが)**

【回答】教員4名、事務職員2名で担当している。相談内容や企業の対応など内容や状況で協力して対応している

(3) 5-18-2 留学生に対するアプローチ活動は？

	<p>【回答】本校で取得を目指す資格は日本国内でしか有効でないことと、教育内容が日本語が十分に堪能でないと習熟が難しいという事から留学生の受け入れは積極的には行わない。ただし、日本に長期在住している外国人については受け入れ実績がある。</p> <p>(4) 5-19-3 予算の問題ありだが、「賄い付き学生寮」があると親は安心。小規模でも健康指向社会。それが本校の特徴に。アンケートの必要性。 明年、ダブルスクールを予定しています。学生寮が有ればよいと思います。</p> <p>【回答】予算上学生寮を運営することは難しい。学生の居住に関しては提携する業者の紹介は受けることができる。オープンキャンパス時に業者に来ていただいて進学希望者の相談コーナーも設置している。</p> <p>【回答】近隣の地主が、本校の学生向けにアパートを建てるという話があった。前述の業者と提携し、今後紹介されていくと思われる。</p> <p>(5) 5-21-1 卒業生支援課（開業、就職先トラブルの対応、業団、学会 etc）があるとよい。</p> <p>【回答】現在個々の案件で関連する担当が対応している。</p>
<p>基準 6 本科 ・ 専 科</p>	<p>(1) 6-22 新校舎は快適で素敵です。今後も魅力を失うことのないようにメンテナンスを継続して下さい。</p> <p>【回答】今後も維持できるよう協力していく。</p> <p>(2) 6-23 校内で臨床実習を重ねられるよう附属治療院での実習をさらに充実してほしい。</p> <p>【回答】長年の積み重ねでお客様も来ていただいている。今後も充実していくよう努力していく。</p> <p>(3) 6-24 そのためにも実習中の事故発生を想定した訓練が実施できるほどのマニュアルが急がれます。</p> <p>【回答】治療中の事故に関しては既にマニュアルがある。新しい教員も増えてきたので昨年見直しもした。</p> <p>(4) 6-23-1 海外研修について。何か検討されているのか。</p> <p>【回答】海外研修の予定はない。</p> <p>(5) 6-24-1 火災だけでなく、定期的な震災訓練も大切なのではないかと（大阪北部地震あり）。</p> <p>【回答】国からも防災対策マニュアルの作成の件で通達があった。平成 30 年度中に形になるよう計画している。</p>

	<p>(6) 自習室は何部屋なのかわかりませんが、実習室に変更したのはよかったと思います。自習室は何部屋ありますか？</p> <p>【回答】自習室は旧校舎の頃、昼間部と夜間部が教室を共有していた時に作ったもので、昼間部の学生が放課後残って勉強がしたいというニーズに応えるものであった。現在は専用の教室があり、ガレリアや図書閲覧室なども自主学習に活用できることから自習室は設置していない。</p> <p>(7) 防災備蓄品期限切れはどう使っていますか？</p> <p>【回答】100名の学生が3日間帰宅困難な状況になったという想定で水や食料、簡易トイレなどを備蓄している。現在期限切れにつき入替中で、今回購入分から期限切れ半年前に業者から連絡を入れてもらうという契約をした。今後何らかの活用方法を考えていきたい。</p>
<p>基準 6 柔軟 整 科</p>	<p>(1) 6-23 学外学習についての具体的取り組みについて、改正の影響は？</p> <p>【回答】平成31年度に1単位45時間分を外部に委託し実習に出る形となる予定。平成30年度中に具体的な場所を決定するよう調整中である。11月までには学内、学外の下承を取り付ける予定である。</p> <p>(2) 防災、安全管理の重要性</p> <p>6-24 防災訓練（震災）の必要性</p> <p>【回答】前回のあはきの項目でも指摘を受けたが、同様に火災に対する避難訓練などは行っているが、震災等様々な要素を含んだ防災訓練は現在行われていない。今年度中に対策マニュアルを作成予定である。</p> <p>(3) 地域への貢献として災害対策鍼灸師というような事が最近言われているが、そういった活動はいいと思うがどうだろうか。</p> <p>【回答】今年度、稲沢市の防災広場や稲沢消防署の防災イベントに学校として協力する。今後イベントの反響などで内容もブラッシュアップしていけたらと考えている。</p> <p>(4) 6-24-2 部外者侵入の措置</p> <p>【回答】先月、不審な人物が職員室に入り込む事案があった。夜間に無言で入室し、声を掛けたらすぐに走り去ったので被害はなく、学生への接触もなかった。監視カメラの映像を基に注意喚起するとともに何かあった場合は手を打てるように申し送りしたところである。</p>

	<p>(5) 教育学習環境は良いと思います。従来より 5000 冊の蔵書の図書室を見学したいです。</p> <p>【回答】ありがとうございます。この後ご希望でしたら見学していただけます。</p>
<p>基準 7</p>	<p>(1) 専門職大学との競合が予想されますが、対策は？</p> <p>【回答】修業年限や、卒業後に学位なのか称号なのかという違いがある。大学と専門職大学との違いは大学は知の教育を重視するが、専門職大学は職業教育に特化している。本校は職業実践専門課程の認定を受けているので実習や職場との連携を深めていくところである。今後 5 年程度でカリキュラムが変わっていくことが予想され、臨床実習の単位数が増えていく見込みである。国が 2020 年に高等教育の無償化を目指していたりするので影響を見極めつつになるが、知識や経験、技術については職業実践専門課程としてしっかりとやっていくことが学生のためになると考えている。</p> <p>(2) 学納金の金額や明細が明らかなのは信頼できます。</p> <p>【回答】今後もわかりやすい表記を心掛けてまいります。</p> <p>(3) 比較的学習意欲が高く目的がはっきりしている社会人や既卒者の入学希望者も大切にしてほしい。</p> <p>【回答】学校としてもそういった学生は重要だと考えており、平成 29 年度入試より社会人入試で本科の受験が可能となった。医療資格者入試など社会人や意欲の高い志望者にとって受験しやすい環境を目指している。また在校生、既卒者には入学金の減免措置を設定する等、経済面での負担軽減も行っている。</p> <p>(4) 今年度の定員割れについて、学園としては、どのような対策をとりますか？</p> <p>【回答】オープンキャンパスが重要だと考えている。説明会に動画を取り入れるなどして好評だったので今年度は座談会の設定や接遇面での工夫など、より良い内容になるよう内容を更新しつつ行っている。また学校の顔ともいえるホームページのリニューアルも来年度公開できるよう進めているところである。</p> <p>(5) 学生募集方法と入学選考の試み</p> <p>7-25-2 学生募集について。 将来的には、新聞広告「愛知の私立大学</p>

編」のように、他鍼灸学校と協力する。そして「愛知の鍼灸学校」としてマスコミなどを通じて鍼灸の良さと教育機関を宣伝できないか？

【回答】他の学校との新聞広告については既にやっている。しかし、年々参加校も減少しており、広告費も割高であることから新聞媒体で今後も継続するかは検討中である。高校生などに対して資格自体の知名度不足は感じており、高校訪問等で意識的に伝えるようにしている。また、学校協会も資格についての資料を作っており、それらの活用も同時に行っている。

(6) 7-26-2 面接の重要性、向上（人物のどこをみるか、検討していく必要がある）。

【回答】面接（人柄、医療人にふさわしいか）は重視している項目であり、評価表の各項目の基準に基づいて評価している。面接で低評価の場合は他の試験科目結果に問わず合否判定会議で議論の対象となり総合的に判断している。

(7) 社会人入学にとってもよい社会環境になったと思います。

【回答】今後も幅広くモチベーションの高い方が利用しやすい環境を提供していきたいと思います。

基準
8

(1) 良好と思われます。

【回答】ありがとうございます。

(2) 学生の確保の大切さ

基準7とも関わってくるが、学生の獲得と退学者の減少を安定させるには、社会へのアピール、そして何よりも本校の質を高めることが重要である（長期的な意識継続が必要）

【回答】本校の収入の95%が学生納付金であるため学生が充足していることが基盤であるので学生の獲得と退学者の減少については重要事項だと捉えている。柔整科Ⅱ部の充足率が足りない現状である。

(3) あいさつの件はどうなったか。

【回答】昨年度から引き続き年度初めの校長あいさつであいさつについて目標だと伝えた。現在のところ昨年よりはあいさつがあるが、まだまだというのが現状。

(4) 実際に挨拶運動をすると、刺激になることもある。

声を掛け合う関係の構築は防犯上も役に立つので是非進めてほしい。

	<p>【回答】目標実現に向けて進めてまいります。</p>
基準 9	<p>(1) 法令や制度の改定はとても重要な情報なので、啓発を心掛けて下さるのは心強い。今後も学生や卒業生の助けやよりどころになってほしい。</p> <p>【回答】施術管理者の件などいろいろと変わっていくタイミングなので、生徒や卒業生に関連の強い改正など発信していきたい。</p> <p>(2) 法令遵守の啓発活動 法令は固いイメージがあるので、学生に対して分かりやすく啓発活動を行うことが大切と思う。 座談会形式で、年に1～2回行ってもよい。</p> <p>【回答】授業時間以外でというのは時間確保が難しい。期末に行う講演会の演題に法令の分野の話をするということなら可能かもしれないが、講演会の内容は業界の事や知識・技術の事もあるので調整がつかないこともありうる。しかし、法令順守は肝心なことなのでなにかしらの機会はあると考えている。</p> <p>(3) 法令に基づいて適切に管理を行っていると思います。</p> <p>【回答】専修学校は文科省、あはき柔整は厚労省というように、管轄の違う法令を意識する必要があるので確認しながらやっていきたい。</p>
基準 1 0	<p>(1) 学園祭が毎年の開催となることで、地域との関わりがより深まるのかな。 ボランティア参加のメリット・デメリットがありますが、学生が学生のうちに社会に触れられる機会は大切だと思います。</p> <p>【回答】ありがとうございます。状況を見極めつつ進めてまいります。</p> <p>(2) 社会貢献の重要性 稲沢地区近隣の市町村への「鍼灸マッサージボランティア」の活動を増やす。スポーツ大会や健康フェスティバル etc. 諸外国の学校との連携の必要性（時代の流れ、布石を打つ）。</p> <p>【回答】従来の活動に加え、今年度は稲沢市の防災イベント、稲沢消防署の防災イベントなどに参加します。今後も参加し内容を徐々に良くしていければと考えています。</p> <p>【回答】海外については以前も質問があったが、過去の視察の状況なども踏まえ現在のところ考えていない。</p>

	<p>(3) ボランティア活動状況は学科別でどのような感じなのか。 有資格者の活動を見て憧れる、勉強になるということがあるのでボランティアなどを通じた現場教育を。</p> <p>【回答】 あはき科のみが行っているのが現状である。今年度の稲沢消防署からの依頼の案件は柔整科も共に参加できるよう検討している。</p>
<p>その他</p>	<p>(1) 教育目標と本年度の重点目標の評価 学校の教育理念と目標</p> <p>* 3. 社会性のある施術者の育成の 1) について 「東洋医学の奥義を究めつつ、東洋療法を確たる不動の信念を持った治療法として専念できる人材を育てる。」と目標にあるが、若い先生は治療に当たって治療のマニュアルを求めてきますが、学園としてはどのような指導をしていますか。</p> <p>【回答】 学生という事もあり、主観を持つためにも 1, 2 年生へ教えていく際は入り口としてマニュアルは大事だと感じている。3 年生あたりから応用を利かせられるよう指導していくが、国試に受かるための知識も必要なので、ある程度定型的な形になる。</p> <p>(2) 東京オリンピックが近づくにつれてスポーツ鍼灸とかスポーツトレーナーについて語る学生が日に日に増加している昨今である。スポーツ鍼灸とかスポーツトレーナーについて、柔道整復師のように柔道を熟知しなければ出来ない、スポーツ鍼灸とかスポーツトレーナーについてもスポーツを熟知しなければできないが、学園ではどのような対策及び指導をしていますか。</p> <p>【回答】 スポーツトレーナーそのものの授業はないが、症例として出てくる。スポーツをすると起こりやすい症状や対策という形で扱うことはある。</p> <p>(3) 重点目標・計画の達成状況の 3 について * 国家試験の合格率の低下について、今後学園としてどのような対策をとるのですか？ また、学力が及ばなかった学生に対して、学園としてどのような対策をとりますか？</p> <p>【回答】 国試に出題される科目ごとに重要部分をピックアップし、習熟度や弱点の把握に活用する試みをしている。 学力確認試験の結果から課題を出し、その課題に関する確認試験を行うというサイクルを今後増やす計画を協議しているところである。模</p>

試の問題に自信度をつけさせ、本当に自信と実力が一致している確認するという事を今年実施する。また、今までは最終の模擬試験を行う2月にピークが来ていたが、国試までの時間が残り少ないタイミングであることから指導が間に合わない部分もある為、12月に一度ピークを持ってくるよう模試や指導等のタイミングを早める事とした。

【回答】柔整科としては、1年時より学生個人ごとの学力や人となりを常勤教員間で共有し、また各クラスの担任が面談などを通し学生の状態を確認することで個別に対応しやすい環境を作っている。対応のプロセスとしては、1. 共有している学生の情報から指導の必要性の有無を検討する。2. 指導が必要な場合、具体的にその学生が苦手な部分などを検討する。3. 検討を踏まえ、学生に指導する。という段階を基本としている。学力の向上に関しては自己学習の部分で差が出やすいので、課題を出して試験を行うなどして理解度の確認も行っている。

(4) これからの医療学校は、「学校内外の充実」「学校の質と社会への貢献(業界、海外 etc 含む)」が大切である。その為には、長期的な視野を持ち、一步一步具体的な実践、継続を積み上げていくことが重要と思われる。そうした意味で、本委員会を期待している。是非、議論だけに終わらず、一つでも二つでも実践につなげていただきたい。

【回答】学校関係者評価委員会議の議論については、教員会議で共有されており、少しずつでも実行していこうとしている。

(5) おおむね評価いたします。今後とも、よき学校にしていくため、協力させていただきます。

【回答】ありがとうございます。学校側としてもより良い学校にしていきたいと考えている。

(6) 保護者としては国家試験合格率や就職については気になるところです。

【回答】過去の国試受験者の在学中の学力や時期ごとの習熟率を参考に対策をたてる試みをしている。

学生ごとにより良い指導ができるよう対策を考えていきたい。

(7) かつては様々な国試対策資料があったが最近はどうなのか。

【回答】出版されているものでは変わらず定番のものもある。しかし、使い方によって役に立つケースとそうでないケースがあるのでそのあた

りのアドバイスはしている。また、国試の過去の傾向や、最近の動向を踏まえた資料を教員達で作成し、指導している。